

入居企業紹介 その148

SICに入居されている企業様をご紹介します。

>>> Desk⑩ AIM WORKS(エイム ワークス)

「コーディネーションで“ものづくり人材”の課題を解決!!」



【代表プロフィール】

AIM WORKS (エイム ワークス)
代表 佐々木 健雄 (ささき たけお)
山梨県生まれ、東京都在住 38歳

【創業の経緯は?】

子どもの頃からプラモデルづくりが好きで、ものづくりに関心のあった佐々木さん。大学卒業後は、光ディスク関連の製造業に10年ほど勤務されていました。その後、高専生に特化した人材紹介会社に5年ほど勤務し、ものづくり企業と高専生をつなぐ仕事に取り組んできました。

昨年4月、製造業への人材採用コンサルティングやコーディネート業務を行うAIM WORKSとして独立し、Desk10に入会されました。現在は、相模原市「産業用ロボット導入支援事業」の一環として実施している「ロボットシステムインテグレータ(ロボットSler※1)育成プロジェクト」のコーディネーターとしても活動されています。

※1 Sler: system integrator (システムインテグレータ)
システムの開発や構築、運用までのトータルなサービスを提供(システムインテグレーション)する企業や人のこと。頭文字のSIに「~する人」という接尾辞「-er」を付けてできた造語。(以下、Sler: エスアイアーまたはエスアイヤー)

【事業紹介】

人手不足が深刻な地域のものづくり中小企業の現場では、生産性の向上が重要な経営課題となっています。そこで相模原市では、3年ほど前から産業用ロボットの導入促進を通じた市内企業の生産性向上支援に取り組んできました。しかしながら、個々の現場に適したロボットシステムの構築を担うSlerが不足していることもあり、思うようにロボットの導入・普及が図られていないという問題が生じていました。そこで一昨年より始まったのが、市内のSler育成を通じて産業用ロボットの更なる導入促進を図るSler育成プロジェクトです。

本プロジェクトでは、有識者や専門家らによって構成されるSler育成プログラム検討委員会での議論を踏まえながら、相模原地域におけるSlerの創出・育成と地位向上に資する取り組みの企画・検討を進めてきました。昨年10月にはロボットビジネスに取り組む事業者が一堂に会するフォーラムを開催。本年2月からは、全国でも先駆的な取り組みとなるSler養成講座を開講します。

本プロジェクトのコーディネーターである佐々木さんは、企業訪問を通じて現場の実情を把握していくことはもちろんのこと、専門家や行政、業界団体との連携も図りながら、具体的なプログラムを構築していく重要な役割を担われています。「中小企業と一緒に考えるSler」を一社でも多く生み出すために、日々コーディネート業務に奔走されています。



今回の受付は終了しました。

2018年度にも開催を予定しています。

【これからの夢または目標は?】

将来的には、前職での経験も活かし、高専とロボットをつなぐような事業を構想されています。すでに昨秋、九州地方(宮崎・熊本・鹿児島)の各高専を訪問し、相模原地域との違いも踏まえた実態調査を行ったそうです。

中小企業の“人材”に関する課題解決支援と、ものづくりを志す若者たちの就職支援を両立させながら、多様な関係者をつなぐことで価値を生み出す役割を目指されています。

【取材を通じて】

音楽好きの佐々木さん。昨年夏には、新潟で開催された野外フェスにテント持参で参加されたそうです。また、渋谷や新宿でDJをしていた経験もあるなど、取材を通じて、普段の落ち着いた仕事ぶりからは想像できない意外な一面を知ることができました。

企業や行政が一丸となって取り組むSler育成プロジェクト。音楽で場の一体感を生み出してきた佐々木さんならではの“場づくり”と“コーディネーション”に、地域からの期待が集まっています。(SIC 樽川)

AIM WORKS (エイム ワークス)
Desk10
E-mail: t-sasaki@sic-sagamihara.jp

入居企業トピックス

○今月の掲載記事紹介○

1月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲載していますので、ご覧ください。

1月10日(水) 高瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞 - 民法改正について④ -

「SIC 空き室情報」

SICの空き室情報です。

○スモールオフィス：数名での事業活動に最適なオフィスとしてご活用いただけます。

増床・移転をご希望の方はご検討ください。

※お問い合わせ先 担当：大谷・稲垣（SIC-2）



空き室情報！

SIC 空き室情報(平成30年2月1日現在) ※お気軽にお問い合わせください。

SIC-1

☆現在、空き室は4部屋ございます。☆

- スモールオフィスA (23.6㎡) 309号室
- スモールオフィスB (17.3㎡) 325号室
- スモールオフィスB (17.3㎡) 326号室
- スモールオフィスB (17.3㎡) 327号室

—ご意見箱のお返事です—

【ご意見その1】 SIC-2

マスクを販売してもらえませんか？

【SICからの回答】

インフルエンザの大流行もあり、12月からSIC-2の受付横にて1枚30円で販売を開始しています。ご利用ください。

【ご意見その2】 SIC-2

大望年会！！お疲れ様でした。いろいろとありがとうございました。たくさん食べて楽しかったです。来年、より楽しくするために気が付いたことをメモしました。●変換ミスと思われなくてみなさんの「望」への想いや気持ちが伝わるように「望」を強調してはどうでしょうか。●ビンゴ大会は、ビンゴカードが数字で、賞品も数字だったので、すこし混乱しちゃいました。賞品No. はアルファベットやかななどの数字以外の方がいいかもしれません。余計なお世話でスママセン。

【SICからの回答】

ご意見、ありがとうございます！大きなお世話も大歓迎です！！大望年会、楽しんでいただき嬉しい限りです！開催担当スタッフは、何故か自分の未知の領域へと足を踏み入れたがり、冷や汗をかいています。そして、「望」に関しては、もう一つ強調しきれず、ご指摘のとおりです。賞品No. は、アルファベットにする余裕が無かったと言うのが実態です。いただいたアドバイスを次回の交流会に生かし、気合を入れて開催しますので、どうぞ、お楽しみに！



お知らせ

開催内容等、詳しくはSICホームページをご覧ください。

《第18回経営者セミナー》

「ありえないレベルで人を大切にしたら24年連続黒字になった仕組み - "幸せな会社" の作り方 -」

今年度の経営者セミナーは、人を大切することで24年連続黒字を継続してきた株式会社日本レーザーの近藤社長にご講演いただきます。

多くの企業が抱えている人材不足や人材育成、人材の定着率の低下といった「人」の面での課題解決のヒントとして、業種を問わず様々な方をご参加をお待ちしています。

尚、お申し込みご希望の方が多く、定員を増枠しました。お申し込みは多方面よりいただいておりますが、今回の余裕はございますが、今回も早い段階での締切が見込まれますので、参加をご希望の方はお早めにお申し込みください。

- 日 時 平成30年2月14日(水) 17時～19時
- 会 場 サン・エールさがみはら(2Fホール)
- 募集人数 150名(申込順) 当日セミナー参加者150名に講師の最新図書「ありえないレベルで人を大切にしたら23年連続黒字になった仕組み」(ダイヤモンド社、2017年)を進呈。

- 参加費 無料
- 内 容 ありえないレベルで人を大切にしたら24年連続黒字になった仕組み
「"幸せな会社" の作り方」
講師 株式会社日本レーザー
代表取締役社長 近藤 宣之氏



※お問い合わせ先 担当：青柳・片山(SIC-1)



The HINT38 (SICミニセミナー)

そのメール

本当に開いて大丈夫ですか？

～標的型サイバー攻撃メールの手口と対策～

近年の急速なインターネットの普及にともない、機密情報や個人情報外部に漏れる危険性が高まっています。特に企業や団体、組織に対してメールの添付ファイルなどを装い、PCをウィルスに感染させてPC上の個人情報や機密情報を抜き取る「標的型メール」による被害が増加しています。

今回は「自分は大丈夫と思っていたのに、被害に遭ってしまった！」といった実例などを参考に、みなさんが日常使っているメールによるトラブルやセキュリティ対策の初級編を学びます。

<講師>

有限会社コウチャ 小林 孝子氏

- ・ITコーディネータ
- ・上級ウェブ解析士
- ・IPAセキュリティプレゼンター登録



☆こんな質問をお持ちの方は、是非ご参加ください。

- どんなメールが怪しいの？
- 標的型メールってそもそも何？
- それって本当に危険？
- 見分け方ってあるの？

- 開催日時 平成30年2月28日(水) 17時30分～19時00分
- 会 場 SIC-2 (1F・大会議室)
- 定 員 20名(先着順)
- 参加費 無料
- ※お問い合わせ先 担当：片山(SIC-1)

編集後記

昨年の今頃は、橋本公園の河津桜が咲き始めていました。今年は、強い寒波の為、立春の2月4日が過ぎても寒さが続きそうで、河津桜はもう少しお預けになりそうです。その立春の前日は2月3日「節分」です。年の数の豆を食べるのは、若い頃は物足りず、今は「こんなに食べられない！」と嘆く方も多いのでは。自分の年齢より1つ多く拾って食べると、「新年の厄払い」になるそうです。荻島